

平成27年度 第8回 直江津区地域協議会

次 第

日時：平成27年9月16日（水）

午後6時～

会場：レインボーセンター 第二会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【自主的審議事項】

直江津まちづくり構想について

4 その他

・次回協議会について

____月 ____日（ ____ ）午後 ____時 ____分～ レインボーセンター

5 閉 会

新水族博物館を活用した直江津のまちづくり構想の検討について
(地域を元気にするために必要な提案事業に向けて)

1 目的

直江津区地域協議会の自主的審議事項である「直江津まちづくり構想」について、新水族博物館を活用したまちづくりをするために審議することとし、地域を元気にするために必要な提案事業として検討していく。

2 実施スケジュール案

	実施内容	実施目的
6月	1日 実施案の提示・決定	住民との意見交換等内容確認
7月	4日 住民との意見交換(1回目) 18日 住民との意見交換(2回目)	住民同士課題を出し合い、問題意識を共有する。
9月	16日 取組内容と部会の決定 25日 住民団体との意見交換	部会(グループ分け)をつくり、取組内容の課題を整理し、取組内容(テーマ)を決定する。 住民意見を受けて、住民の問題意識と新たな課題を共有する。
10月	上旬～ 自主的審議の検討(開始) 「新水族博物館を核とした地域活性化委員会」での検討内容の情報共有 ※部会ごとに2～3回開催 取組内容により、市担当課を交えて検討を行う。	取組内容の具体的な審議を開始する。 取組内容を提案に向けた形で詳細を検討する。(市から事業の実施方法や事業費など内容の具体性実現性を高める。)
11月	上旬～ 事業提案書の作成 事業提案書の提出	取組内容の詳細検討を継続し、提案書を作成する。 提案書を実施主体に提出する。
12月～	事業実施に向けた継続審議	事業提案の実施に向けて、取り組むことなど審議を継続する

※審議過程で、市の担当課と連携を図り、提案に向けて必要な情報を得ながら進める。

※「新水族博物館を核とした地域活性化委員会」との情報共有を図る。

「新水族博物館を活用した直江津のまちづくりを話し合う会」 の実施について（概要）

1 目的

地域協議会委員と地域住民（団体）とが「直江津のまちづくり」をテーマに課題を出し合い、問題意識を共有し、取組を検討するため、意見交換を行う。

2 対象者

想定 40 人程度 ・住民団体の方（20 人程度）※9/16 現在参加申込 8 団体 16 人
・地域協議会委員（17 人）

3 開催日時

平成 27 年 9 月 25 日（金）19 時～21 時程度

委員集合 18 時～

※会場準備及び会の進め方の最終確認

4 場 所

直江津学びの交流館 2 階 多目的ホール

5 話し合う会の進め方（案）

詳細は別紙のとおり

- ・グループ単位での意見交換（参加者が意見を出しやすいように）
- ・4 グループ×10 人程度
- ・7 月に住民との意見交換をした意見内容（意見集約表）を参考に、新たな課題や意見を出し合い、まちづくりの取組について意見交換する。

班	分類	1 水族館以外の部署が行うこと			2 新水族館が行うこと			3 地域(個人・商店・団体)が行うこと			4 協働(市と地域)が行うこと			
		取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	
A	直江津のPR				【PR策】 ⑨雪国体験や荒海ツアー企画		水族館の冬場の集客 ・(案)東南アジア国内の雪のない地域から雪国体験や 荒海見物の客をツアーで集め、これと水族館の冬場の模 様替えて客を引き込む	【商店街等の整備】 オープンガーデンの整備		街中でオープンガーデンの利用			【直江津のまちづくりを考える】 各町内全体で一つの目標(テーマ)を立て全体で活動する 地区の町民の考え方・希望を詳細に聞くため、町内会長さ んを通してアンケートをとったかどうか 例:①どんな街にしたいのか(例えば歴史と文化の町) ②行政への要望 ③観光特区 など	
								【PR策】(目玉づくり)		ロコミになる目玉作り(お土産など)		①まちのテーマづくり 高齢者の暮らしやすい町など、町内 会を通じての住民アンケートの実施 ②まちづくりコーディネーターの育成 市内大学の協力や先進地から学ぶ ③後継者の育成	町づくりの基本は足で歩くことが基本。高齢者が暮らしや すい町を基本とする。	
								①お土産 ②ゆるキャラ ③直江津ブランド		ゆるキャラをつくる			町づくりコーディネーターの育成 ・町づくりコーディネーターを招く	
										直江津のブランド開発			市内の大学とコラボし、町おこしのアイデアをもらったり参 加してもらう	
									【PR策】	「おもてなし」の演出(観光地である!売店・飲食) 外からの目線を大事に			新事業の創造と商店街の後継者の育成を考える	
									①おもてなしの演出(外目線を大事に する) ②郷土の食文化とお店を紹介 ③各商店による誘客への取組 活気づくり、イベントでのペンギン行 列、買い物等ポイント制導入など	インターネットでの広報(土産物等)			三八朝市周辺のまちの魅力発信	
										郷土の食文化の案内とお店の紹介			安寿と厨子王伝説を直江津から佐渡、京都、更に全国に 発信する基地にする	
										各商店でも客を取り入れる仕掛け、取組 ・商店の活気を取り戻す取組 ・各イベントでペンギン行列 ・商店街でのポイント制導入、10ポイントで割引とか			【観光名所(旧跡)の整備・発信】 ①三八朝市周辺のまちの魅力発信 ②安寿と厨子王伝説を直江津から佐 渡、京都、更に全国に発信 ③鉄道のまち直江津をPR	鉄道のみ直江津をPR
													インターネットでの広報(土産物等)	
													【PR策】	
													③タクシー運転手の観光ガイド ④地元の児童生徒に直江津の良さを 知ってもらい共にアイデアを募る ⑤魚釣り等の体験学習を取り入れる ⑥「安寿と厨子王」のPR ⑦イベント情報のPR方法を考える ⑧新幹線を利用した観光コースの企画 ⑨旧名所の整備 ⑩特産品を町の中心に	タクシーの運転手の観光アドバイス役を 学校を通じて、子ども達に直江津の良い所を知ってもら うと共に子どものアイデア・発想を活かす
														学校行事(修学旅行、体験学習(魚釣りなど))を取り入れ てもらえるように水族館のPRをしてもらう
														安寿と厨子王伝説を直江津から佐渡、京都、更に全国に 発信する基地にする
														イベント情報のPRの仕方を考える
												新幹線効果を利用した大観光コース 能登一上越一佐渡 など		
												直江津地区の名所旧跡をPRするため整備する		
												物産(特産品)の店を町の中心に		
B	ソフト事業 (ア) 街中整備			北陸新幹線を通して上越妙高駅からのバスの運行	【PR策】 ③水族館PR看板の設置		水族館の外に大看板を		山ろく線、あじさい通りをきれいに			ルートの作成 ・直江津駅から水族館までの歩道(水族館ロード)整備 ・八幡宮公園途中に遊べて楽しめるポイント整備		
				水族館からの2次交通(観光循環バスの運行) ・運行例:駅-港町-水族館-五智公園-駅 ・シャトルバスは数分毎に乗り降りを可能にする ・名所旧跡をめぐる ・子供も分かりやすいバスの運行				【水族館ルートの作成】		雁木を快適に通行できるように配慮する			水族館周辺の道路等の清掃(ゴミ清掃、意識改革)	
				上越インター付近に大駐車場を造り、シャトルバスを走ら せる				②環境整備(清掃等) ③道標等の案内整備 ④商店街への回遊策		水族館へ向かううちに歴史の理解を深めよう ・周りの環境の物の豊かな海辺、川辺、池や里山への発 展できる案内にとんだ手がかりを			①街中からのルート整備(八幡宮公園 で遊べる整備など) ②環境整備(清掃等) ③駅前への回遊策 ④観光名所への回遊案内 ⑤商店街への回遊策	
				街中の活性化を兼ねたマイカー対策 ・高田と直江津の間に大駐車場を整備し、水族館をは じめ、観光や土産物店、飲食店の集まるいくつかのスポッ トを巡回する低料金の巡回バスを整備する						活性化のあるまちづくりに添った活動内容 ・駅から道路の脇に花等を植え水族博物館までの道案 内等に魚のプレート等(裏道散歩コースの整備も)			観光客(県内外の方)への歴史ある場所への回遊と案内 ・国分寺など	
										歩いて行く途中に特色あるにぎわう店 ・さらに脇道への発展して由緒ある(歴史・史跡)ものを 学べる直江津の町を奥深く入って行くきっかけを			回遊優先か、水族館へのアクセス優先か検討が必要	
										【駅前の賑わいづくり】 ③活気づくり				挨拶もおもてなしのうちである ・小中学校と連携した中高生のあいさつ運動 ・地域住民や店員も愛想がよく声掛けが必要
														【PR策】 ①おもてなしの演出(小中学生、店員な ど地元住民の挨拶) ②案内マップ(街中店舗や食事処)の 作成と設置場所の工夫 ③水族館への案内看板の設置 ④観光場所への案内看板の設置 ⑤自然(海・山)のPR策 ⑥佐渡汽船との連携(あかねのPR)
														街並みに水族館への行き先の表示看板を設置 ・マップの所在を明確化 ・食事処の地図
														直江津の歴史・文化を物語るポイントを整備 ・歴史の流れを看板表示(PR)
														自然(海、山)のPR方法を考える
												佐渡汽船との連携(あかねを考える)		
												【道路整備】 ②水族館ルートの整備(清掃)		
												②クリーンな町に努力する		
												【駅前の賑わいづくり】 ①放置自転車の撤去 ②花の展示		
												・直江津駅前の整備 ・放置自転車の撤去 ・花の展示		

班	分類	1			2			3			4								
		水族館以外の部署が行うこと			新水族館が行うこと			地域(個人・商店・団体)が行うこと			協働(市と地域)が行うこと								
		取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細						
C	(ア) 街中整備	【商店街等の整備】 ①駅前から西本町商店街の整備(アーケードの設置と路面の段差解消) ②街並みの大胆整備		西本町商店街の活性化 ・水族館から西本町の間を商業地域に用途変更し西本町から続くアーケード街に変えていく ・雁木通りの路面の段差を解消していくための補助金を設け、個人負担を軽減させる⇒補助制度あり															
				イトーヨーカ堂を中核にして商店を集約し活性化する→西本町から駅前まで→道路・駐車場の整備															
				街並みの整備(思い切った都市計画を)															
		【ユニバーサルデザイン(バリアフリー)の整備】 ①街全体での取組 ②商店での車椅子用トイレの対応 ③車椅子の方の休憩場所の設置		各種商店は車椅子トイレを造る(専用で)															
				バリアフリーのまちづくり															
				車椅子の人が休憩できる場所を造ってほしい。(車椅子の長時間乗車は疲れる)															
		【道路整備】 ①アクセス道路の整備(直江津駅・中心街・水族館・五智名所) ③周辺道路の整備(直江津港・佐渡汽船～海岸道路) ④永代橋の整備		アクセス道路の整備 ・駅、直江津中心街、水族館、五智の名所															
				海岸道路を直江津港まで延長する															
				佐渡汽船から海岸道路を経由する橋を掛ける(永代橋)を造る計画															
		【駐車場整備】 ①高田と直江津の間(上越インター付近など)に大駐車場を整備し、シャトルバス運行や、観光名所や土産物店などを巡回バスを運行させる。		街中の活性化を兼ねたマイカー対策 ・高田と直江津の間に大駐車場を整備し、水族館をはじめ、観光や土産物店、飲食店の集まるいくつかのスポットを巡回する低料金の巡回バスを整備する															
				上越インター付近に大駐車場を造り、シャトルバスを走らせる															
			【環境整備】 ②街中への公衆トイレの設置		町中に公衆トイレを														
				【駅前観光案内所の整備】 (休憩所も兼ねる)		観光案内所を駅前に設置する(簡単な休憩所もかねて)													
					【ユニバーサルデザイン(バリアフリー)の整備(駅前)】		高齢化に伴う直江津駅前の道路の整備を行う。												
【駅前道路の整備】		駅を中心に道路整備																	
【駅前駐輪場の整備】		駅前の駐輪場を整備する																	
D	(イ) 周辺整備	【商店街等整備】 ①駅前商店街の整備(アーケードの設置)		駅前商店街アーケードの建設															
			【物販・飲食店の整備】 ①鮮魚市場の整備 ②物産館(土産物店)、食堂、カフェ等の整備		水族館を活かした周辺整備が必要 ・日本海と一帯整備が必要 ・鮮魚センターや飲食店等、集客力のある施設														
					水族館に大きなみやげ物店。大きな食堂がほしい 観光物産センターを水族館周辺に移転する														
				水族館や名所旧跡の周辺にみやげ売り場や食堂、カフェなどを充実させる															
		【観光名所(旧跡)の整備・発信】 ①五智地区の整備 ・自然と歴史ゾーンの整備 ・五智公園(青少年文化センターの跡地利用(例:休憩場所)含)		五智の自然と歴史ゾーンの整備															
				五智公園や青少年文化センター跡地の活用 ・東屋のような簡単な休憩できる建物を整備(子ども達が遊びに来るけど雨宿りをする場所がない) ・来た人が自由に休めて水道、本など置けるように															
		【周辺施設の利活用】 ①屋台会館の跡地利用(土産物店、道の駅)、青少年文化センター、厚生北会館の更新 ②ウォーターフロントとしての整備		屋台会館の利活用も含め「デザイン」と周辺の導線 ・屋台会館へおみやげ店を ・屋台会館近くに「ミニ道の駅」を造る															
				厚生北会館の老朽化と更新について															
				水族館周辺の整備(ウォーターフロントとしての)															
				サーフィン、釣り客の居場所を考える															
		【道路整備】 ①海岸道路の拡幅整備 ③直江津中学校北側の整備 ④水族館へ(から)の歩行道路(海岸へも)		海岸道路の拡幅															
				中学校北側の防風林をアミューズ広場に活用出来ないか															
				水族館のお客の歩行アクセスが問題。特に駐車場から水族館の間のグラウンドを冬期間どう通すのか、課題															
				水族館から海岸へ降りる道がない															
	【環境整備】 ①水族館北側の整備		新水族館前(道路の北側)の土地・民家をどうするのか																
		水族館北側を海洋レジャー基地にする 更に温水プール、鮮魚センター・飲食物産センターをつくる																	
		水族館北側にお店や居場所を造る(休み所)																	
	【観光名所(旧跡)の整備・発信】 ①直江津の名所旧跡、歴史・文化を整備する		直江津地区の名所旧跡を整備する																
		直江津駅から東面の活用 ・直江津の歴史・文化を物語るポイントの整備 特に安寿と厨子伝説の物語館																	
	【道路整備】 ②水族館ルートの整備(雁木の段差解消等)		①水族館に行く道路を整備する ③雁木通り、歩道を段差のない通路にする																

班	分類	1			2			3			4			
		水族館以外の部署が行うこと			新水族館が行うこと			地域(個人・商店・団体)が行うこと			協働(市と地域)が行うこと			
		取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	取組	期間	意見詳細	
B	渋滞解消・安全対策	【水族館ルートの渋滞緩和・安全対策】 ①一方通行の規制(安国寺通り等) ③歩道の整備 ④駅やバス停からの風雨防対策 ⑤交通量調査と信号機等の見直し ⑥山麓線の延伸による駅前の交通渋滞の緩和		交通の巡回を考えた町(一方通行) ・安国通りなど	【水族館ルートの渋滞緩和・安全対策】 ①一方通行の規制(安国寺通り等) ②歩行者・自転車運転者の安全対策 ③歩道の整備		交通渋滞の問題 ・水族館駐車場に交通案内板を設置する				【水族館ルートの渋滞緩和・安全対策】 ②歩行者・自転車運転者の安全対策		車道・自転車・歩行者の安全対策	
				歩道の改築・対策・整備										
				雨(雪)に濡れないで歩いて行ける水族館 ・バス停、直江津駅から安全に										
				交通量と渋滞の関係、特にイトーヨーカ堂前の信号機について										
				今でも夏休み中は渋滞が起きて中等～イトーヨーカ堂間は15時～17時は通れない										
				山麓線の延伸により駅前の交通渋滞の緩和										
			【道路整備】 ①周辺道路の拡幅		周辺道路の整備									
				主要道路の拡幅(防災面で東西方向の道路を整備)										
				渋滞問題 水族館と小学校の間の狭い道										
C	その他	【その他名所旧跡の整備】 ①春日山への大型バスの乗り入れ		春日山山頂への大型バスが入りやすく整備する	【その他運営面】		料金の設定 時間							
							水族館の入館 ポイント制で集客を上げる							
							水族館内に釣堀							